

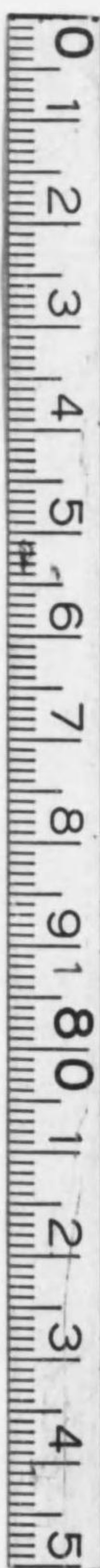
特253

336

昭和十三年九月

農業共同作業實施上の諸問題を解く

山口縣農會



始



32

特 253
336

目 次

| | |
|--|----|
| 一、時變下に於ける農業者の覺悟…………… | 一 |
| 二、共同作業には如何なる仕事が多く取り上げられて居るか…………… | 三 |
| (1) 現 状 の 大 要…………… | 三 |
| (イ) 最も普及して居る作業 (ロ) 相當普及して居る作業 | |
| (2) 本年度より新に共同作業に取り上げられたものについて…………… | 五 |
| (イ) 最も増加したる作業 (ロ) 相當増加したる作業 | |
| 三、共同作業を実施して如何なる効果があつたか…………… | 六 |
| (1) 作業能率が向上する…………… | 六 |
| (2) 農事組合内の融和がとれる…………… | 八 |
| (3) 労賃の支出が少くなる…………… | 九 |
| (4) 仕事が愉快に出来る…………… | 一〇 |
| (5) 間食其他冗費の節約が出来る…………… | 一〇 |
| (6) 時間勵行の觀念が組合員間に強くなる…………… | 一一 |



| | | |
|-----------------------------------|--|----|
| (7) | 組合内の仕事が遅速なく捗る..... | 二 |
| (8) | 勞力の分配並に活用が好都合に行はれる..... | 二 |
| (9) | 念を要する仕事に共同作業は効果的である..... | 三 |
| (10) | 其 他..... | 三 |
| 四、共同作業實施上發生する難問とその解決法..... | | |
| (1) | 共同作業参加者の能力決定困難..... | 一五 |
| (2) | 耕地の形状が不揃ひであつたり一枚の耕地の大きさに大小等があつて共同作業實施上計算上の困難ある場合について..... | 一七 |
| (3) | 共同作業の勞賃の決め方及賃銀の支拂方法に困難あること..... | 二二 |
| (4) | 共同作業を實施した處時間の制限を受け家事の仕事等粗雑になる感あること..... | 二四 |
| (5) | 平年は賃銀支拂の経験なき人が共同作業實施後賃銀を支拂ふ立場になる場合あること..... | 二五 |
| (6) | 共同作業を實施して却つて仕事が捗らない事例が見られること..... | 二七 |
| (7) | 共同作業の記帳が困難であること..... | 二九 |
| (8) | 農業經營方針や技術、又は勤勞度等の不揃な農事組合員間に於ける共同作業は成立も困難だし、又實施しても不圓滑なる點多きこと..... | 三一 |

| | | |
|------|--|----|
| (9) | 組合員の耕地面積に大小の違ひがあつたり、家畜を持つ者と持たない者の違ひ、家族勞力の多少等の違ひがあつて共同作業實施困難なる事情ある場合..... | 三三 |
| (10) | 天候の變化が共同作業の圓滑なる進行を阻害する場合あること..... | 三六 |
| (11) | 共同作業は能率的である關係か作業が粗放的になる處あること..... | 三八 |
| (12) | 農事組合に中心人物なく、爲めに共同作業の成立も難事であるが仕事も圓滑に進捗せぬ場合あること..... | 四〇 |
| (13) | 共同作業は農業に経験の浅い者の技術の向上には不便であること..... | 四二 |
| (14) | 共同作業には如何なる仕事をとり上げ可きか見當のつかぬ場合あること..... | 四三 |
| (15) | 共同田植等に於ては植付期日遅延する場合あること..... | 四四 |
| (16) | 小農にして他に日雇勞賃稼ぎにゆく者に不利なる場合あること..... | 四五 |
| (17) | 共同作業終了後の賃銀計算に困難を感じる場合について..... | 四六 |
| (18) | 耕地散在し共同作業實施困難なる場合あること..... | 四八 |
| (19) | 共同作業を實施すれば個人の自由を失ひたる形にて農事組合員が不安を感じる..... | 四九 |
| (20) | 其 他..... | 五〇 |

農業共同作業實施上の諸問題を解く

一 時變下に於ける農業者の覺悟

時局は日に増し重大となつて來まして、此の難局に對處する爲めには吾々國民は舉國一致の實を擧げる必要ある事は申す迄ありません。

此の秋に當り農業者は如何にすれば舉國一致の實を擧げ得る事となるか、又延いては報國のため力を盡すことになるかと申しまするに、第一農業を國策に順應して經營すること第二に農業者自身も戰時體制下に於て經濟的に行き詰る事のないやうあらゆる工夫、努力をなすことであります。

それには勿論困難な點もあり、又場合によつては商工業者同様犠牲も厭はぬ位の覺悟が必要であります。

之がためには農業を經營するに當り何處に力を注ぐ可きかを説明しなければなりません。現在農村に於て力を注ぐ可き事項は第一食糧農産物の生産を確保して國民食糧の充實を圖ること、第二に國防資源（飼料用麥、甘藷、菜種、牛、馬、兎等）及貿易資源（纖維作物

茶等)農産物の増産を圖ること、第三に戦後の農業經營發展に對する基礎的準備を用意し國運の伸展に寄與すべく努めることの三つであります。之等の問題を實行しますためには從來のやうに各人が思ひ／＼に好きな方法で農業を經營する方式では不可能に近いとさへ思はれますので農業生産に於きましても幾分統制的な仕事を行ふことが必要になつて來たのであります。商工業に於きましては特に斯かる傾向がありまして、戦争に直接的關係の少い平和産業と云はれる部面に於きましては或は縮小されねばならぬ仕事もあるといふ事情になつて居ります。

現在農業を經營する上に於きまして前の三重要事項を實現する上に於て最も故障となつて居ります事は農村に於ける勞力並に畜力の不足であります。之を克服し以て銃後農業者の重大なる使命を果す方向に農業を進めてゆくために先般來共同作業が提稱されて居るのであります。

共同作業を實行するのに個人的な都合などを云つて居る場合ではありません。又共同作業には種々困難な問題が起るから良いことではあるが差當り手を附けぬ方が得策だとの考へ等は現在の農業者に與へられた重大方針が眞から分らぬため起る間違つた考へ方ではありませんか。共同作業に困難があるなら先づ如何にして之を解決して行く可きかを考へねばなりません。本書はその參考資料として出したものでありますから第二章以下を充分

御活用下さいまして、共同作業の目的を達成すべく御盡力下さいますやう希望する次第であります。

二 共同作業には如何なる仕事が多く 取り上げられて居るか

(1) 現状の概要

昭和十二年度に於ける共同作業指定農事組合を縣下に於て一、六二九組合選定したのでありますがその共同作業實施成績及實施計畫により、如何なる仕事が共同作業として多くの農事組合に取り上げられて居るかを順位を附して列記して見ると次の通りであります。

(イ) 最も普及して居る作業

用排水路の浚渫
水稻插秧
水稻苗代病虫害の防除
鹽水選
裏作の病虫害の防除
水稻除草

水稻本田病虫害の防除

(ロ) 相當普及して居る作業

水稻刈取

灌排水

共同耕作地の經營

稲作用農具の共同利用

裏作の耕耘播種

自給肥料材料採取

果樹病虫害の防除

麥作用農具の共同利用

共同作業場利用

蔬菜病虫害防除

肥料配合

水田整地

裏作の收穫

以上の他に共同事業として、應召農家援助、農業用品の共同購入、農産物の共同販賣並に日用品の共同購入も相當行はれて居る次第であります。

共同作業として如何なる仕事を選定した方が好都合であるかを判断する際に御利用願ひ度いと存じます。

(2) 本年度より新に共同作業に取り上げられたものについて

現在に於ける共同作業の種類の大要は前項の通りであります。その中共同作業の奨励された本年度に於て急に増加した作業を順位を附して列記して見ると左の如きものがあります。

(イ) 最も増加したる作業

水稻本田病虫害の防除

水稻插秧

水稻除草

水稻苗代病虫害の防除

鹽水選

裏作病虫害の防除

(ロ) 相當増加したる作業

水稻刈取

水稻調製

自給肥料材料の採取

裏作耕耘播種
 肥料配合
 堆肥舍灰小屋共同建設
 共同耕作地の經營
 稻作用農具の共同利用
 裏作中耕除草土入
 裏作收穫

從來の共同作業以外に新に共同作業を増加する場合などは如何なるものを選ぶ可きか吟味される際に以上の成績を御利用願ひ度いと思ひます。

三 共同作業を実施して如何なる効果があつたか

(1) 作業能率が向上する

共同作業を有利に行へば成年男子の勞力に見積つて約二割の勞力を節約し得る見込なる事は以前の印刷物にも紹介して置きましたが、共同作業の實行成績より致しましても作業能率が向上した事例が最も多いのであります。

(例1) 佐波郡の右田村では平年でさへも田植に他部落から雇人を入れて居たのだが、今年は多數の應召者を出し中堅人物が少くなつたのに共同作業を採用したため一般農事組合員に競争心起り努力を増すやうな結果となり、従つて他部落人を雇ふ事もなく一方に於ては從來より以上に適期作付が可能となり他部落に賃銀を出さぬ事にもなつた。

(例2) 玖珂郡高根村芝米報徳農事實行組合に於ける成績によれば次の通り作業能率を上げている

| | | |
|----|----------|--------|
| | 一反歩當挿秧乙女 | 一反歩當代掻 |
| 前年 | 四人 | 〇、八人 |
| 本年 | 三人 | 〇、七人 |

(例3) 熊毛郡田布施町納所農事實行組合に於ては從來も共同田植を実施して居たが、本年は更に月例会及集會にて共同作業の意義や目的を説き之に一層の努力を拂ふ可き事を申し合せたる處次の如き結果を得た

| | | |
|-------|----------|-------|
| 昭和十二年 | 共同田植所要勞力 | 二〇〇人役 |
| 昭和十三年 | 〃 | 一七〇人役 |

尙本年は昨年より共同田植面積は増加して居るのにかゝる成績を得たる次第なり

(例4) 熊毛郡麻郷村に於て各農事組合が共同作業を実施せる事により勞力に餘剰を生じために組合外の作業をなし豫想以上の勞賃収入を得た。併し又二、三の例としましては共同作業を実施したがため却つて能率が下つたといふのもあります。之は共同作業に参加した人の精神、共同作業の実施方法の如何により此の違ひが生じたのであらうと思ひますが熟考して見なくてはなりません。

(2) 農業組合内の融和がされる

共同作業を実施して以來農事組合員間に一致協力事に當るの氣分が醸成され農事組合内の融和の度が非常に増して來た傾向が相當見られます。

(例1) 佐波郡八坂村に於ては從來如何なる施設をなしても圓滑にゆかぬ農事組合があつたが共同田植を実施して一緒に汗を流す仕事を行つて見た處理屈拔きの融和が出來此の分でゆけば除草、草刈、道路修繕、水路改修、病虫害の防除等何でも出來るだらうし共同の力程偉大なものはないと部落民は喜んで居る。

(例2) 厚狭郡吉部村伊佐地農事實行組合には天水田又は畑田多く降雨を待ちて耕作するもの相當あつたが、共同作業實施により灌漑水を之等天水田畑田に分水する事になり之等が完全に耕作し得るため相互の利益甚大一同喜んで組合の氣分一層融和の度を増した。

(例3) 阿武郡高俣村の報告によれば隣保共助を中心とする農事組合であり乍ら從來精神の融合がしつくり行かなかつたが共同作業實施後氣分が非常に和し來り、之は經濟更生實行上大なる收穫があつたものと思はれる事が記されて居る。

(3) 勞賃の支出が少くなる

共同作業を実施する事により他部落よりの臨時雇に支拂つて居た勞賃を自分の部落内に止め得たとか、その他勞賃節約について効果を擧げ得る事は最初から期待して居た事ではありましたが豫想通りその事例は澤山ありました。

(例1) 厚狭郡吉部村伊佐地農事實行組合に於ては平年農繁期に當り相當の臨時雇を他部落より備入れて居る。昨年はその勞賃のみにも三五〇圓に上つたが、本年は共同作業を實行せるため他部落よりの備入れを行はず、ために他に勞賃をも支出せざりし好結果を得たり。

(例2) 豊浦郡殿居村の例によれば、從來近隣の農家が無意味な競争的挿秧をなす惡習慣あり之がため、他の地方より相當多くの臨時雇を雇入れて居たが共同作業實施後無意味な競争が無くなり雇勞賃の支出も劇減した。

(例3) 豊浦郡栗野村小迫農事組合に於ては毎年田植女十數人を米一俵宛を支拂ふ契約にて雇傭する習慣ありしも本年は共同作業を実施して之を節減する豫定の處、六月

十四日の豪雨にて耕地の流出土砂の堆積相當あり、之がため村内五百戸より一名宛復舊作業に奉仕する事となりしため共同作業の成績を得るや否やを憂ひ居りし

もその結果は他部落又は他町村に貸銀支拂ひはなしといふ実績を収め得たり。

次の例は貸銀の節約とは少し内容を異にして居るが便宜上此處に掲げる事にしました。

(例4) 吉敷郡陶村に於ては従來農事組合内にて田植の早く終りたる者は他部落に雇はれて出で居りしも共同作業実施後は之が自部落内で働く事となり、以て自部落の勞力不足のものは安心して挿秧が出来た上、人を備ひ歩くのに要した日時心痛等は解決し好成績を収めたり。

(4) 仕事が愉快に出来る

少人數の仕事よりも多數の仕事の方が面白くやれるし苦痛も少いといふ感が深い。殊に婦人連の感想として此の事を屢々聞かれます。

(例1) 美禰郡眞長田村の報告によれば、個人作業を行へば苦痛なる仕事も共同にて行へば互に談合する間に仕事が捗るため愉快に仕事を行ひ得た。特に婦人の作業に於て此の點効果多しとある。

(5) 間食其他冗費の節約が出来る

従來農繁期に多くの雇人を入れる家では主婦がその賄に忙利された上、その經費も相當

なるとか、手間替の際にても間食代が相當要るとか云ふ話を聞いて居りましたが、共同作業を実施すれば斯かる經費の節約も出来るものと豫想されます。

(例1) 大島郡久賀町流田農事組合に於ては、従來雇入れた者の宅に在つては併或は「オハギ」其他馳走をなし居たるも、組合員が申し合せて此の度の共同作業実施期より全然之を廢する事とし共同作業出役者は手辨當持參といふ事になり經費の節約、炊事手間の省略に効果ありたり。

(6) 時間勵行の觀念が組合員間に強くなる

組合員間に時間勵行の觀念が強くなるといふ事は共同作業の副産物であるが、斯かる効果を擧げ得た事例も亦意外に多いのであります。

(例1) 玖珂郡高根村の報告によれば従來より共同田植は實施して居たが、本年より共同作業の簿記を記入することになつた處、従來よりも各人の時間の觀念が非常に強くなり能率の増進を圖り得たとある。

(例2) 豊浦郡殿居村の例によれば共同作業は青年の時間的責任感を非常に強め早起をなす習慣起りたり。

(7) 農事組合内の仕事が遅速なく捗る

従來農事組合員の或る者は早く仕事を濟ませ、或る者は常に遅れ勝ちであるといふ例は

何處でも見受けられたのでありますが、共同作業実施後農事組合内の農作業は同時に終了する事となり、此のことが延いては農業経営技術上から見ても好成績を挙げ得る事になつたといふ事例も亦多い。

(例1) 厚狭郡厚狭町の報告によれば共同田植を実施したる結果その終了時期も殆んど同様となり之が爲めにその後の作業たる追肥も皆適期に施す事を得、一方追肥に無駄がなく又除草も人と同じ頃にやればそれが丁度適期に當つて居るといふ、従來には見られざりし好結果を収めたとある。

(8) 勞力の分配並に活用が好都合に行はれる
農繁期に忙しさが一時に重なる事は従來苦痛の種子であつたが共同作業を実施した處此の多忙が幾分緩和され又勞力の分配に好都合であつたといふ結果を見て居ります

(例1) 佐波郡八坂村の或る處の例によれば、従來は川上より順次植付けざれば川下は手間は幾何程あつても手を空しうして水の廻り来る迄は植付困難なりしも、川上の方は水は豊富にありても手間不足にて植付出来ざるため、川下の者は非常に植付遅れ之が延いては收量にも影量を及したりしも本年より部落相互の連絡をとり共同田植を実施したるため植付も順調に運び非常な好結果を得たり。

(例2) 美禰郡眞長田村の報告によれば共同作業実施により能率の低い老人年少者等に

も(本事例に於ては労働能力など問題とならざらしもの)適當な仕事に従事するため家族全部の勞力が活用され個々に作業するよりも苦痛は少く作業も短期日にて終了したりとあり。

(例3) 豊浦郡の報告によれば従來家族の従業者が男のみ或は女のみに偏れる處に於ては男の仕事又は女の仕事に對しては勞力補充の困難ありしも共同作業実施後此の困難は解消したりとあり。

(9) 急を要する仕事に共同作業は效果的である

天候關係其他により急を要する仕事を處理する場合共同作業は非常に效果的であるといふ結果も見られる
(例1) 豊浦郡瀧部村の報告によれば砂土質の水田の植付は代掻後直ちに挿秧せぬとナツクにより作業困難となるためこの場合速急に仕事を行はねばならぬが、之を共同作業にて行へば非常に好都合なりとあり。

(10) 其他

共同作業を実施して好成績を収めた事例中特にその數の多いものは大體前項迄に收めました次第であります、本項に於てはそれ以外のものを整理して大體項目名を列記する程度にて之を御紹介致して見度いと思ひます。

- (い) 共同作業により無駄手間が省略される
- (ろ) 共業作業により技術が向上する
(殿居村例) 相互の實地栽培せる作物を目撃し優良栽培技術者の實際を見習ひ、又研究する特點ありて栽培向上に大なる利益あり
- (は) 適材を適所に置ける
(瀧部村例) 農作業は複雑なるにより共同作業に於て各自の適した仕事に従事し得る効果を得たり
- (に) 適期作付が可能である
- (ほ) 適期病虫害防除に好都合である
- (へ) 臨時雇を雇入れる心配が解消する
(豊浦郡例) 従来挿秧期に於て労働者雇入れが農家頭痛の種であつたが共同作業によりその問題は解消した
- (と) 勤勞奉仕に好都合である
- (ち) 勤勞精神の涵養によし
(高俣村例) 農村青壯年婦人等は眞から土に親しむ氣分を稍もすれば足りざりしと認められる時共同作業は之に勤勞精神を喚起せしむるに好結果を齎らしたり

- (り) 勞力不足のみでなく、家畜を有せざる農家が助かる
- (ぬ) 現在の勞力不足状態の中にあつても各人安心して農業經營に従事し得る
- (る) 農業經營の計畫化が促進される

四 共同作業實施上發生する難問とその解決法

(1) 共同作業参加者の勞働能力決定の困難

従來行はれて居ります手間替では個人別の勞働能力を決めることは殆んどありませんでした。従つて能力問題につき氣不味い思ひをする場合等も少なかつたのでありますが、斯く個人の能力を決めぬ代りに、手間替は家族勞力其他の事情が相似て居る家の間に於てのみ實施されて居た傾向がありその範圍は廣くない場合が多いのであります。

今般獎勵されました共同作業に於ては家族勞力其他の事情が相似て居る家の間丈ではなく之より範圍を廣めて一農事組合全部の人が之に参加し、以て勞力畜力不足を緩和し銃後農村の護りを固くしようといふ建前で行はれますので、之が圓滑に實施されるために又は繼續して行はれるために公平なる勞働能力を決定して参加者の不平を少くしようとする事は有意義なことと思はれる次第であります。

併し能力決定は下手をすれば却つて共同作業参加者間の感情を害ふ虞がありますので能力の決定を爲さずとも共同作業が圓滑に運び得る自信のある位にまで組合員の氣分の融和した農事組合では、能力決定等は行はず、偶には共同作業に提供した勞力の多少による計算も行はずに之を實施して居る事例もあります。又勞働能力決定などが問題となるやうな農事組合では共同作業は永續して實行の可能性はないだらうとする農事組合長もあります併し一般の農事組合に於ては勞働能力を決めた方が好都合な場合が多いと思はれます。勞働能力決定の際留意すべき事項は

◇共同作業参加者の一人一人につき厳格な能力を決めるが如きことは避けること

◇能力は年齢により分ける方が最も簡單に解決出来るが餘り細かに分けぬこと。特に年長者の能力を細分する事は注意する必要がある

◇男女別能力は仕事の種類を吟味して決め男女同等に働き得る仕事に於ては男女別による能力に差等をつけぬやう心掛くべきこと

年齢別能力は大體次の表位の程度に分けて置けばよろしからうと思ひます

| | | |
|----------|---|---|
| | 男 | 女 |
| 十八歳以下 | 六 | 五 |
| 十八歳より二十歳 | 八 | 七 |

| | | |
|-----------|----|---|
| 二十一歳より六十歳 | 一〇 | 九 |
| 六十歳以上 | 七 | 六 |

(2) 耕地の形状が不揃ひであつたり、一枚の耕地の大きさに大小等があつて共同作業實施上並に計算上の困難ある場合について

耕地の形状不揃ひのため、諸農作業に要する勞力に相異なる事は勞働科學研究所の報告にも數字的に出て居ります。例へば四角の如き二つの耕地に於て稻植付反當勞力は(イ)に於ては八時間一分二十四秒、(ロ)に於ては十三時間五十五分四十秒となつて居ります。又一枚の耕地の大きさも作業能率を上げるためには相當關係を有し稻刈に於て一枚一反歩の田では一八時間二十六分一枚四畝半の田を一反歩行ふには二十四時間五十一分といふ成績を得て居ります。

耕地の形状の不整、大きさの如何による共同作業實施上の支障を除くための私案は次の通りであります。

(第一案)

共同作業の提供勞力の過不足を計算し賃銀の受拂をなす場合、一反歩植え幾何といふ計算法を採らず、「共同作業の設計と成績」にて原則として居る一日當幾何といふ計算

方法を探ること。

此の場合何某の提供した耕地は労力を非常に多く要するのだから、何某の共同作業に提出すべき労力（加入反別に對する割當數量）は組合内の平均より割出して計算したもので不可であるとするは控へるやうにし農事組合各員が幾分づつ良い耕地と悪い耕地を持つて居るのだからあまり細かいことなどは不問に附するやうにするのであります

（第二案）

第一案では到底解決がつかぬ如き場合には本案を採用しては如何と思つて茲に掲げた譯であります。

第一案と異なる點は、組合員の提供した共同作業加入耕地にも労働能力の場合の如く歩合を附する事でありませす。此の歩合としては大まかなものでよろしいと思ふのでありますが各耕地の諸作業についての所要労力が分つて居れば之を基礎に歩合を決め又之が分らなければ之を次の程度に分けたらよろしいと思ふものであります。

先づ耕地の形状より判断して

甲地 一、〇〇の勞力を要する場合

乙地 一、三〇の勞力を要し

丙地 一、五〇の勞力を要する

（此の數字は一例に過ぎない）

といふ程度に分け、各組合員提供の耕地に組合員全部協議の上甲、乙、丙を附して、計算の場合組合員の提出すべき勞力（加入反別に對する割當數量）を加減す。

又耕地の大きさより判断して

甲地 一、〇〇の勞力を要する場合

乙地 一、一〇の勞力を要し

丙地 一、三〇の勞力を要する

といふ程度に分け、耕地の形状の場合と同様に處理すること

例へば二十戸の農事組合が各々一町歩の耕地を共同作業に出し二十町歩の共同田植を實行した處四百人役の勞力を要したとしますと、一反歩當り二人役を要して居る計算になります。

然らば各組合員は二十人役の勞力を提供（加入反別に對する割當數量）すればよろしいので之を基礎にして賃銀の計算を行ふのが第一案の方法です。

然るに第二案の方法を探ることになれば或る組合員の耕地は實際共同作業に提供した反別は一町歩であるが形状に於て甲、廣さに於て丙になつたとすれば

$$10反 \times 1 \times 1.3 = 13反$$

右の計算により一町三反と同じ勞力がかかることになり又或る組合員の耕地は、形状に

於ても廣さに於ても乙だとすれば

$$10反 \times 1.3 \times 1.1 = 14反^3$$

右の計算により一町四反三畝と同じ勞力がかかる事になります。

かゝる計算を各組員毎に行つて之を合計して見ますと、全反別は計算上は二十町歩以上（實際共同作業をした反別は二十町歩であるが）になる。

此の場合判りやすいやうにその合計が三十町歩になつたと例へて見ますと全部の田植に四百人役要して居るのでから反當に於ては

$$400人 \div 30 = 13.3人強$$

右の式により約一人三合の勞力を要して居る事になります。

然る時は第一の例に引出した組員の提出すべき勞力（加入反別に對する割當數量）は

$$1.3人 \times 15 = 19.5人$$

第二の例に引出した組員に於ては

$$1.人 \times 14.3 = 18.人6弱$$

がらふことになります。

第二案の實行は却々面倒でありますので組員全部の耕地の一覽地圖を作り之に甲、

乙を記入しなければ殆んど不能です。又耕地の甲、乙の決め方が人間の能力の決め方と同様に問題となつて來ると思はれます。故に可成第一案で片附けるやうにし、若し如何にしても第一案では處理し難い事情にあれば農會等の協力を求めて第二案を實施すべきであり、之が難かしいとして共同作業を放棄すべきではないと思ひます。

(3) 共同作業の勞賃の決め方及賃銀の支拂方法及困

難あること

勞賃の高低は一日當勞働時間の長短と併せ吟味しなければなりません。一日當勞働時間の決め方には普通

一日何時間

夜明けより日没まで

の兩方法がありますが、勞賃協定の際は先づ此の時間の問題をはつきりさして置く必要があります。家事の仕事等をも相當受持つて居る婦人連等を共同作業に参加させる場合は夜明けより日没までといふ方法は餘り感心しないと思ひます。時間により決めておけば早く切り上げて長くなくても何れにでも計算が出来る便利があります。

さて、一日當時間が決まりましたら次は賃銀をいくらに決めるかの問題があります。

その前に申し上げて置き度い事は、男の賃銀、女の賃銀、子供の賃銀といふ工合に賃銀を決める事は難事だといふ話を屢々聞くのですが、(1)の能力決定の場合に於て述べましたやうな方法で以て能力を決めておけば賃銀を幾種類にも決めて置く必要はありません。男子成人の賃銀を決めて置きさへすればよろしいと思ひます。但し男子成人の賃銀と申しましても

農繁期の一日當賃銀

農閑期の一日當賃銀

は異はなければなりません。

茲では農繁期の賃銀を説明する心算で論を進めますが一日當労働時間が決りましたら、それと同等な他の労働に對しては、又は他に雇はれた場合には略幾らの賃銀が得られるかを考へ色々な場合の賃銀の平均を算出し之を基準にして、共同作業の賃銀は此の基準より高かるべきか、同等なるべきか、低かるべきかを考へて見度いと思ひます。

一、基準賃銀より高かるべきか。

之の場合は殆んど考へられませんが小範圍の地域に於きましては賃銀は氣紛れに上り下りする場合があります。これは近所部落に行けば自分の部落で共同作業をやるより餘計の賃銀が手に入る立場の人が出て來ます。これは人手の特に少い人の雇い難いやう

な處に見られる現象であります。斯かる地方に於ては賃銀の氣紛れ相場を防ぐため廣い範圍に涉つて賃銀の協定をなして置いた方がよろしいと思ひます。

二、基準賃銀と同等なるべきか。

只今説明致しましたやうな處では少くとも基準賃銀と同等なる事が望ましいと思ひます。賃銀を支拂ふ方の側からそれでは少々高過ぎる感がある。共同作業によらずに自分の好きな人を雇ふ方が實は便利であるのだから今少しく低い方がよろしいといふ意見が出るかも知れませんが、

◇雇人を雇入れる心配及び雇人に要する經費の節約可能なること。

◇全ての共同作業に於て一人のみが常に損ばかりして居るのではなく必ず得る處もあるのであるから目前の作業に於ける計算でのみ判断せぬこと。

以上の二項目を考慮して基準賃銀と同等ならよろしいといふ氣分を醸成致し度いものがあります。

三、基準賃銀より安き場合

理想的には勞力を餘計に提供して貰ふ方の側も、人を雇ふより共同作業の方が幾分不充分なる感のせぬ場合がないでもないのだから、基準賃銀より安きことが望ましいと思ひます。特に從來に比して大した勞力不足を感じて居らぬ農事組合等に於ては先づこの方

法で労賃が決められぬかを考慮して頂き度いものであります。

次に賃銀の受拂ひ時期は一作業の勞力過不足計算終了直後がよろしい。だゞ此の際問題となる事は組合員中に支拂ふ可き現金も、現物も持ち合せぬ人があることでもあります。斯かる際は農事組合の共同積立金を融通する方法を構することをおすゝめし度いと思ひます。支拂ふべき金を借りに走り廻る人があるやうでは共同作業は心痛の種であります。

共同積立金造成は共同收益地を經營してもよいし、農産物賣上代金の一部を天引積立てを行つてもよく之には色々の方法が考へられると思ひます。

(4) 共同作業を實施した處時間の制限を受け家事の

仕事等粗雑になる感あること

之は特に婦人間に聞かれる意見であります。今迄共同作業の經驗を持たぬ婦人連が急に午前何時から、午後何時まで共同作業に従事せよといふ立場に置かれると随分窮屈な思ひをする事は豫想されます。

但し一方では共同作業により時間勵行が出来るやうになつたといふ事例もあり、又朝の出揃ひが晚いと昏の張り切つた氣分がだらけてしまふからは是非共同時間勵行をせねばいかぬといふ話も聞く譯であります。

この時間の制限が苦痛になる事の緩和策としての私案は次の通りであります。

一、出役時間に餘裕を持たせること。

家事等にどうしても幾分の手間を割かねばならぬ婦人の如きは作業の途中より引き上げ得るやうな方途を構し置くこと。この場合早退する人の労働時間を野帳に正確に記入し置くことは注意しなくてはならない。

但し、朝の出揃ひの時間は嚴格にすること。尙夕刻早期引き上げの希望者には豫め班長にその旨申出でさしめ班長は仕事の進捗に支障を來さざるやう豫め準備し置くこと。

二、共同托兒、共同炊事等家事の合理化をも考慮すること。

婦人連は家事の仕事が忙しく早期引き上げを希望する向が多數なる如き場合は、共同托兒所の設置、共同炊事の勵行等を考慮し實行すればよいと思ふ。

共同作業に於ける時間は判つきりして置き度いもので何時出て來たか、何時引き上げたか分らぬやうでは全部の氣分が面白くないと思ひます。

(5) 平年は賃銀支拂の經驗なき人が共同作業實施後

賃銀を支拂ふ立場になる場合あること

耕地は人並以上の廣いものを經營しては居るが、昨年一作業に對する日數は餘計にか

けたもの、自家勞力丈で仕事を片附ける事が出来た。今年は昨年より自家勞力も減つて居らぬのだからやはり自家勞力丈で片附け得るのだが、共同作業を実施すれば、昨年より仕事は早く終るだらうが人の手間を貰ふ方が多く賃銀支拂をせねばならぬといふ事情の人が有ります時共同作業はスラ／＼と成り立たぬ事は勿論であります。

斯かる場合も、(3)の勞賃の説明中で述べました通り

◇此の度の共同作業は單なる一作業の共同のみを目標として居らぬ事

◇全ての共同作業で一人が損ばかりするものでなく多種類の共同作業を実施する中には必ず得る處多きものなる事

を具體的に研究し合ひ以て斯かる人も共同作業に加入して貰ふ事に致し度いと思ひます。

尙その他に斯かる場合の對處方法としての私案は次の通りであります。

一、作業が平年よりも早く終つたため生ずる手間の餘融をすかさず他の仕事にふり向ける工夫をなすこと

農繁期に於ては一日の手間は農閑期に於ける一日の手間とは比較にならぬ程貴重なるものである事は申す迄ありません。共同作業により餘裕の出来た手間は大體農繁期の手間と見られる實情ですが、之を無爲に過して賃銀ばかり拂ふ立場の人に對しては之を無爲に過させぬ工夫が必要と思ひます。それについて最も適當と思はれるのは農事組合に於

ける共同耕作地の經營を之に利用する事です。例へば或る組合員が共同田植を行つた處八人役丈勞力提供不足になつて居る見當なら、共同耕作地の田植に八人役丈餘計に、又はその除草に十人役丈餘計に出て働くといふ工夫をすれば、賃銀支出は少いか或は全然支出しなくてもよろしいといふ結果になると思ひます。

斯かる事が實際に行はれ得れば、標題にかゝげましにやうな問題はわけなく解消すると思ひますが、必ずしも共同耕作地の經營に解決點を見出さずとも組合の事情によりては種々の解決方法が工夫され得るものではないでせうか。御考慮を願ひます。

(6) 共同作業を実施して却つて仕事が捗らぬ事例が見られること

共同作業を実施して擧げ得た効果の第一に作業能率が向上する事を掲げて置きましたが一方に於ては共同作業により却つて仕事は捗らなくなり植付期日等が遅延したといふ例も見られるのであります。

斯かる事情は參加者が共同作業に馴れて來れば自然と解消する場合が多いのであります。併し本年の共同作業に於て斯かる現象の見られた農事組合に於ては次の諸事項を研究し、今後の共同作業に備へて頂き度いと思ふものであります。

一、組合員の共同作業に對する認識に不徹底な點はなかつたか。
 組合員が厭々乍ら參加した共同作業なら効果を擧ぐべく期待する事が無理であります。之に對しては、銃後の農業者は如何にすべきかを考慮して見て貰つて、共同作業は銃後農業者の活動の基礎である處まで認識して貰ふやうな方法を構せられむ共を希望する次第であります。

二、組合員の仕事の進捗程度に差があり、優秀なる技術を有する者、又は仕事が巧妙に運んで居た人のみが能率の下る事を云々するのではないか。

斯かる場合は農事組合全體としての仕事の進捗ぶりを考慮し、全體としては昨年より仕事がよく捗つて居るものなら、共同作業が不可なりと斷定する譯には行きません。この際考へて頂き度い事は次の通りであります。

◇如何にすれば仕事の進捗の遅いものを指導してゆけるか。

◇如何にすれば技術の劣つたものの技術を向上せしめ得るか。

◇この度の共同作業は單に一作業に終る主旨のものでないから、一事業には少々犠牲あつても他の作業で利益ある事。又かゝる多種類の作業を設定する事を優秀者に充分知らしめる事。

三、共同作業實施計畫が缺點のないものであつたか。

最初の班の分け方等が至極簡單に取扱はれ班の大きさ等が作業にピッタリ合つて居なかつた場合などはないか。共同作業に選んだ仕事が適當であつたか、(これは二の共同作業には如何なる仕事が多くとり上げられて居るかを参照)等を御研究願ひ度いと思ひます。尙作業の進め方が全然考慮されて居らず、無統制に行はれたのではないか。以上の諸點をふり返つて研究し今後の萬全を期して頂き度いと思ひます。共同作業は却つて仕事の能率の下るものでない事は、一般の事例が示して居るのでありますから、實施方法さへ適當であるなら、決してその懸念はない事を充分御認識願ひ度いのであります。

(7) 共同作業の記帳が困難であること

今回の共同作業に於きましては共同作業選定組合にては

一、組合員農事經營概況

二、農業共同作業の設計と成績

三、野帳

四、經營簿

五、臺帳

以上五種類の帳簿を使用する事になつて居ります。

之の記入方法を充分分つて貰ふために、各選定農事組合に對しては農業共同作業記帳案内

を配布してありますから、之を充分御利用願ひ度いものであります。

記帳と云へば繁雜な農業簿記のみを考へ、そんな事は百姓には逆も出來まいと頭から決めてかゝる傾向が、當業者にも亦多數の指導者にもあるやうに思ひます。此の度の共同作業は之を徹底させるためと農事組合の經營を漸次改善してゆくために出來る限り之を組織的に合理的に實施し度いと考へましたので右の帳簿を用意したのであります。農家に帳簿を書かせる事になると今迄折角よくやつて居た手間替等も壞れてしまふといふ意見も聞かれる譯であります。併し共同作業の實施上及びその計算に不公平のないやう、又充分その効果を收めるため之を計畫的にやるにはどうしても最小限度右の五種類の帳簿が必要であります。之は從來の精確な農業簿記などに比較しますと段違ひに簡單なものであります。個人の農業經營ならば帳簿なしでどうやらやつてゆきませうが、それにしても合理的經營を行はうとすれば記帳が必要になつて來るのです。まして多人數で行ふ共同作業に於てその成立の第一條件たる公平を期することは帳簿なしでは絶対に出來ぬと言つても過言ではありません。記帳は追々馴れる事として、組合幹部は之を利用する考へ丈は最初からもつて頂き度いも

のであります。

(8) 農業經營方針や技術、又は勤勞度等の不揃な農

事組合員間に於ける共同作業は成立も困難だし

又實施しても不圓滑なる點多きこと

經營方針の確立した者、技術の優秀な者、勤勞度の大なる人は共同作業よりも個人作業の方が喜ぶ場合が普通でありませう。此の問題につきましては(6)共同作業により仕事が捗らない事例の見られることの説明でも幾分觸れて置いたのであります。此の問題は二つの方面から研究して見る必要があると思ひます。

一、優秀者に對する處置をどうするか。

共同作業の實施を喜ばぬのは主として優秀者の側でありますから之に對し共同作業の認識を深めしめねばならぬと思ひます。之がためには

◇生産確保、軍需農産物の増産其他現時農業者の努むべき使命達成に共同作業が最も効果的なること。

◇共同作業の一つ、一つについて見ると必ず百人が百人利益のあるものに非ざるも、現在には全體としての農業生産を考へねばならぬ必要が大にある爲めにかゝる統制が加へ

られ或る程度之を甘受すべきものであること。併し乍ら或る作業では不利益である者が他の作業では必ず利益を受けることが期待され得ること。

◇従来は技術、経営方法等の劣つたものに働きかけ以て効果を収めることは難事であつたが、現在の情勢に於ては一般の気分も従来に比較して一變して居り、又共同作業を行ふのだからといふ事を前提として之等劣つたものに働きかければ経営、技術の向上に容易に自覺する事が豫想される状態になつて居ること。従つて優秀者は共同作業を自分の最も是と信する方向に引き摺り易き状態になつて居ると認められること。以上等をよく了解せしめ、最初は注文通りゆかなくても農事組合の將來等も考へ率先之に参加するやうにして貰はねばならぬと思ひます。

二、劣つたる者に對する處置をどうするか。
技術、経営方針の劣つた者に對しても次の如きことを説いて充分振ひ立たしめる必要があると思ひます。

◇共同作業は技術、経営方針の優秀者には喜ばれぬものだらうことは豫想し得る事。併し國策に添ふべく之に協力し、永續せしむべく努めねばならぬこと。之がためには、優秀者の仕事に可成ついでいくやう心懸くべきこと。
◇右心懸を實際化するためには、斯くの如き事を實行する事。斯くの如き事としては理論

的ではない、早速心懸け又實行の出來得る如き具體的項目を二、三列記する。

斯くの如き面倒臭い事は省略しても優秀者の理解さへ出來れば共同作業は成立し易くなるものと思はれますが、成立した以上名目丈の共同作業に終らせず参加者の全部が一年をふり返つて本當によかつたとの感を抱くやうな効果を擧げるためには、右のやうな方法を構じて萬全を期すべきだと考へます。

- (9) 組合員の經營面積の大小、家畜の有無、家族勞力の多少等の相異が共同作業實施上の支障となる場合あること

共同作業が全體としての不足勞力の緩和に有効であるといふのは耕地に比し家族勞力が充分あつて勞力的餘裕のあるものが、他方の耕地に比し家族勞力少く勞力的に困つて居るものの作業を援助して全體としての不足勞力を緩和するといふ建前をとつて居るからであります。併し乍ら組合員各自の耕作面積に極端な差異のある場合などは従来に於ても、農村の美風とされて居る手間替が成り立ち難かつたのでありますが、共同作業も手間替と同様な氣持で實施しやうとすれば或は成立し難い事があると思はれます。

斯くの如き事情の下に於ては實際問題として、何處から共同作業に這入るか研究され

ねばならぬと思ひますが、之に對する便法としての私案は次の通りであります。
 即ち共同作業を実施する場合耕作面積の大なる人の全耕地を悉く之で處理しなければならぬといふ如き考へ方を暫く置いて、先づ如何にすれば共同作業を成立させ得るかを考慮し、之がためには耕作面積の大なる人の耕地の中で共同作業實施に便利な耕地のみを之に提供し、耕作面積の小なる人はその耕地の大部分でも共同作業に出す事にして條件が相似た方が好都合であれば最初は斯かる方法をこつてもよろしいと思ふのであります。斯くして共同作業が圓滑に運ぶやうになつてから組合の大部分の耕地を共同作業に移す方法をこゝる事が出来るやうになります。

次に家畜を有する者と有しない者との調和がとれぬため共同作業が圓滑に運ばぬといふ例もあります。之などは全く共同作業實施に當つて作業進捗方法に對する研究が足りなかつたものと思はれます。即ち作業の實施を上手に行つた農事組合に於ては共同作業により馬、牛を持たぬ農家が非常に助かつたといふ事例が澤山見られるのであります。牛、馬の有無は、勞力の不足を緩和すると同様にして有無相通じ度いものであります。

之が實際の場合の取扱ひ方は、勞力の場合と同様「共同作業の設計と成績」で有無融通する計畫を樹て、作業實施に當つては「野帳」に於て馬又は牛が作業に従事した時間を勞力と同様に正確に記入して置けば作業終了後計算により牛、馬の無い者は牛馬を提供して

呉れた人に賃銀の支拂ひが出来る譯であります。

茲で問題となります事は次の通りであります。

(一) 牛、馬一日の勞働に對する賃銀を幾何に見るか。牛と馬の賃銀を同じに見るか。

牛馬の賃銀は一般に人間の賃銀と同様にて問題を解決して居る例が非常に多いのであります。例へば馬を引いて作業に出かけた場合、二人の男が作業に従事した場合と同じ賃銀を得る事になります。故に牛馬の勞賃を人間並にて片附け得れば至極簡單であります。併し中には牛、馬の賃銀は人間のものより高い筈だとの意見のある農事組合もありました。之に對する資料と致しまして縣農會の調査成績より牛馬の勞賃の生産費を算出しました處馬で一日二圓五十錢見當、牛で一圓八十錢見當といふ結果を得たのであります。仍て牛馬の賃銀は人間並ではいかぬ又牛と馬は異なる可きだといふ意見のある農事組合に於きましては共同作業に於ける牛馬の基準賃銀として之等を採用し、之を標準にして人間の勞賃と同様に取扱へば問題は解決出来ると思ひます。(4)勞賃の決定を参照下さい)

(二) 同じ牛でも成牛と仔牛の賃銀に差異を設ける必要なきか。

人間でも能力を決めて問題を解決する事を原則としたのでありますから、同じ牛でも仔牛と成牛は能力を決め、人間の場合と同等の取扱ひをする事を原則とした方がよろしい

のではないかと思ひます。

(10) 天候の變化が共同作業の圓滑なる進行を阻害する
る場合あること

農作業には天候に支配されるものが多い。例へば稻、麥、菜種の收穫等はその一例であります。

仍て收穫作業を共同で行つた場合甲、乙、丙なる組合員の收穫は全部晴天の日に行つたが、丁の作業にとりかゝらうとした時降雨があつて作業不能となつたとすれば、丁は自分で收穫して居れば、或は晴天の日に收穫し得ただらうと考へるであらう。かゝる際共同作業は非常に都合悪くなる事が考へられるのであり、又之に對しては、斯うすれば間違ひなくゆけるのではないかといふはつきりした對處法も考へられないのであります。

併し此の心配を緩和する方策としては次の諸事項が考へられるのであります。

(一) 仕事をよく按配して行ふこと。

例へば、甲、乙、丙、丁四人の共同收穫を行ふ場合班長甲は先づ甲の收穫を全部済ましてから乙の收穫にかゝり、次に丙、丁と個人別の仕事を片づめて行ふ計畫をしたのでは全部が不公平を考へるやうになり又能が過ぎると思ひます。特に天候に支配される

作業に於ては班長は各組合員の耕地とその反別を記入した地圖を持つて居り甲の收穫、乙の收穫、丙の收穫等が幾分でも公平に行へるやうに尙同時に仕事の上に大なる無理のないやうに計畫して仕事を進行させる事を考へて頂き度いと思ひます。

例へば甲、乙、丙、丁四組合員の家族より九人の従業者が出て稻の收穫をするとせば

第一日目

甲の分七畝、乙の分八畝、丙の分三畝、丁の分一反二畝

第二日目

甲の分一反一畝、乙の分一反、丙の分七畝、丁の分二畝

といふやうな工合に按配したいと思ひます。但し第一日目甲の七畝を済ましてから、山一つ越えて向ふの乙の八畝にとりかゝるといふ式でなく、各組合員の耕地の位置等も考へ適宜之が實行出来るやう。又山の向ふに乙の八畝丈があるとすれば、之は共同作業より除けて共同作業に便利な處丈を先づ片づけるといふ如き方法をとれば天候による支障は幾分避け得ると考へられます。

(二) 稻の收穫等に於ては稻架を準備し置くこと。

或る農事組合に於ては本年より新に全收穫物の三分の一位程度は架乾が出来るやう準備し收穫中の降雨に備へる方策を構じて居ります。

(三) 一日中全部を共同作業につぶさぬこと。

實際に採られた方法であります。午前中は共同作業をなす。午後は各自思ひ思ひの仕事を行ふといふのも亦天候関係による支障は餘程緩和出来ると思ひますが、之では共同作業を義務的にやつて居る感あり、他の作業に於ても組合員の氣分が中途半端な處に止り、しつくり仕事が徹底しないといふ缺點がある事を慮れる次第であります。可成第一の方法をとつて頂き度いものと思ひます。

要するに天候関係による支障の調節は組合長又は組合幹部が實情に應じて適當な方法を構すれば相當緩和される事を信じます。

(11) 共同作業は能率的であるが作業が粗放的になる虞あること

共同作業は仕事が粗雑になる虞があるといつてもその内容には次の二種類のものがあると思ひます。

一、意識的に仕事が粗雑になるもの

共同田植を行ひ同時に施肥も行つた處、肥料撒布の場合他人のものに限り不合理に行ふのではないかといふ素振りが見られたといふ例もあり、又作業の繁雑を省くため稍もすれば

ば植付當時の施肥が怠り勝ちになつたといふ例もあります。之等は意識的に仕事が粗雑になつたものと見るべく、之に對しましては組合員の共同作業に對する認識を徹底せしめると同時に組合員各自が作業に念を入れる事を共勵し合ふ施設を構する以外に對處法はなからうと思はれます。

二、不可避免的に仕事が粗雑になるもの

作業に不馴れの人丈で共同作業をやり、その終了後仕事の補正に相當の勞力を要するといふやうな事では困りものであります。作業に不馴れの人が多い場合はその中に熟練者を交へ之が他を指導しつゝ作業を進めるやうな工合に組合長なり班長は按配して頂き度いと思ひます。

又相當の経験者達が互に作業の進捗を競ふのあまり作業が目立つて粗放になるやうだつたら組合幹部が極力之を指摘注意する事で相當な効力はあるものと思へられます。

終りに前述の如き注意を拂つても尙不可避免的な微々たる程度の作業の粗放化は之を問題にし斯くあるが故に共同作業には研究の餘地ありとするに足らぬと思ひます。研究の餘地ある如き程度のもは、一の種類に屬するか、二の種類に屬するものかを見究め然る後前に述べました對處法を構じて頂き度いと思ひます。

- (12) 農事組合に中心人物なく、爲めに共同作業の成立も難事であるが、仕事も圓滑に進捗せぬ場合
あること

工場地帯附近の農村に於ては最近男子壯年者の工場に勤務する者多く、共同作業に限らず農事組合としての活動等を行はうとすれば中心人物がないといふ場合が多く見受けられるやうであります。

斯かる地方に於きましては指導の立場にある人は次の二つの事項の研究を行ひ以て對處法を構じて頂き度いと思ひます。

一、指導者が一時中心人物の代理者的活動をなすこと

指導者が單に指導の立場よりのみならず、實際農事組合長としての立場より組合内の農業従事者に働きかけることが先づ考へられますが、農事組合の数が多し處などでは、指導者の負擔が餘りに過重となる事も考へられる缺點があります。

二、婦人の活動を旺盛ならしむべくつとめること

従來農會方面は特に婦人をねらつての仕事など餘り實施して居りませんでした。併し乍ら長期戦になる程男子は不足しそれ丈婦人の進出が期待される事が豫想され、婦人の活動

を旺盛ならしむべき施設が必要になつて來たのではないかと考へられる次第であります。

外國の例が直ちに日本の實情に當はまるものでもありませんが、歐洲大戰の際など、歐洲の參加國の婦人は男子の活動部に相當進出し男子の代りに働いたものさうであります。農業に於きましても婦人が男子に代つて働く事を研究し促進する方法を構ずる事は現在有意義な事であると思ひます。

但し婦人の労働強化の施設を構ずるには男子の労働と同様に考へて之に當つたのでは幾分見當違ひを生じはしないかと思ひます。荒仕事に男同等の能力を發揮し得ない労働力であること及び諸調査成績によれば壯年婦人の農業労働時間は壯年男子に及ばず約八割位となれるものが多いが、婦人は家事仕事にも相當の勞力を投じて居り、労働時間の合計は常に婦人の方が多く、特に壯年女子には過勞の傾向の見られる場合などあること並に婦人の心理と男子の心理の異なる事等を充分考慮して婦人労働の強化に乗り出して頂き度いと思ふのであります。

斯くして婦人の粒が揃つて來れば、中心人物の代りとなる者がその中から生れる事も豫期され、又之が不能の場合に於ても、指導者がピンからキリまでつききりで農事組合幹部の代理的役目をつとめる必要は省略される事になると豫想されます。

(13) 共同作業は農業に経験の浅い者の技術の向上を
 圖るには不便であること

農業の経験に浅い青年等の技術の向上を圖るに共同作業は都合が良くないといふ例もあ
 ります。併し又共同作業は技術の優秀なるものを見做ふが故に技術上にも参考になる點が
 多いといふ例もあります。之等を綜合して考へますに、或る程度の農業の経験を有する者
 には好都合であるが、殆んど経験の無い青年等には、優秀者の技術の何處を學んで良いの
 か、それすら見當が附かず共同作業では叮嚀に教へて貰ふ事も出來ず都合が悪いとされる
 のではないかと思ひます。

後者の場合に於きましては、全耕地を共同作業に提出する事なく、一部のものは之を残
 し、個人で以て之を耕作し以て技術を習得する事にすれば、同時に共同作業と個人作業の
 比較研究なども出來て却つて好都合なものであらうと思ふ次第であります。

(14) 共同作業には如何なる仕事を取り上げべきか見
 當のつかぬ場合あること

共同作業に取り上げべき仕事の種類を考慮する場合には先づ次の諸事項にある如き仕事

を順次研究して行く事により略見當がつくのではないかと思ひます。

- 一、組合内で從來多くの臨時雇を他部落より雇入れて居た仕事、又は今後臨時雇の勢力を
 多く要すると豫測される仕事
 - 二、農繁期の忙しさを緩和するために考へられる機械を中心とする仕事
 - 三、全組合員が協力して實行せねば効果の擧り難い仕事(例へば病蟲害防除)
 - 四、軍需農産物の増産を圖り得るやうな仕事
 - 五、從來必要性は分つて居ても餘り實行されなかつた仕事で此の際皆で一緒にやらうとい
 ふ事になれば實行され得る可能性のある仕事(例へば經濟更生部落計畫、經營改善、肥
 料配合、堆肥増産、草刈等)
 - 六、農事組合の基礎を強固にする仕事(例へば共同耕作地の設定等)
- 之等の諸事項を考慮して共同作業にとり上げ可き仕事を決めて頂き度いと思ひます。
 尙從來如何なる種類の共同作業が多く行はれて居たか。今年は何なるものが多く共同
 作業に取り入れられたか。等の問題につきましては
- 二、共同作業には如何なる仕事が多く取り上げられて居るか。
 を御参照願ひ度いと存じます。

(15) 共同田植等に於ては植付期日遅延する場合ある

コト

〔10〕天候の變化が共同作業の圓滑なる進行を阻害する事」の項で述べました事とは全然異なる事項を對稱として居りますが、對處方法は同様な工合でよろしいと思ひます。即ち仕事をよく按配する事を先づ考へ、次に致し方なき場合は一日中全部を共同作業につぶさぬことも考へて、共同作業を実施して水稻插秧時期が遅れたといふやうな結果を來す事を防ぐやうに努める事は先づ必要と思ひます。

或る農事組合の事例を報告したものに次の様なものがあります。

所謂寒地農業にして插秧の適期を外す事は收量其他に大なる影響あるを以て適期作付希望者多くために處理法に困りたるも、各組合員の耕作反別に應じ按分して共同作業の順序面積等を割出し、組合員一人分の田植に一日を潰すことなく、一日に二戸乃至三戸宛の植付を行ひたる處稍複雑の感はあれども公平に作業を終了するを得たり。

この例の如き配慮をなせば植付の遅延する者があるといふ虞れを幾分除去することが出来ると思ひます。

(16) 小農にして日雇勞賃稼ぎを主なる兼業とする者に共同作業が不利なる場合あること

經營面積が少く、平年は自家の仕事が終了すれば他部落に臨時雇として出かけ、その勞銀収入が家計維持のための重要な支柱となつて居るやうな農家が、共同作業を実施した處、地區内全部の作業が終了しなければ他に勞賃稼ぎにもゆけなかつたといふ或る農事組合についての報告を得ました。

之は共同作業の計算の基礎となる一日當勞賃の決め方が餘りに低過ぎた結果ではなからうかと思ひます。勞賃の決め方につきましては(3)に於て述べて置いたのでありますが、右に述べたやうな事情の人があるとするれば、協定勞賃を少くとも基準勞賃並に引き上げねばなるまいと思ひます。協定勞賃が基準勞賃と同額であれば、臨時雇としての勞賃稼ぎを豫定して居る人は自部落の共同作業に専心働いても他に出たのと同様の収入を得られる事になります。

兎に角之等の困難が発生した場合は勞賃の高低如何を先づ研究して頂き度いと思ひます。

(17) 共同作業終了後の賃銀計算に困難を感じる場合
について

「(7)共同作業の記帳が困難であること」の項に於ても大體本問題と似たやうな事を取扱つて置きましたが、計算が困難であるといふ事例も多くありますので茲に之を説明致して見度と思ひます。

共同作業終了後提供勞力過不足により賃銀の受入又は拂出額を決めるために豫め決定致し置く可き事項は次の通りであります。

畜力の事は人間の勞力と同様でありますから説明を省略します。

◇一日當勞賃（一日當勞働時間も同時に決定し置くを要す）

◇男女別又は年齢別能力

◇作業の種類に依つては耕地の形状により作業の進捗の程度を考慮し歩合を決め置くこと（省略してもよし）

◇作業の種類によつては耕地の大きさにより作業の進捗の程度を考慮し歩合を決め置くこと（省略してもよし）

次に共同作業を実施するに當つては「共同作業の設計と成績」及び「野帳」の記入を正

確に行はねばなりません。共同作業の設計と成績に於ては、共同作業に提出した各組合員別の耕地面積を、野帳に於ては各参加者の勞働時間を誤りなく記入する事を心懸けねばなりません。

以上の準備を終り共同作業を実施し同時にその成績記入を行ひ之が終了した後、勞賃の受拂の計算をするのでありますがその順序は

- 一、野帳より各参加者の勞働時間の合計を参加者毎に算出すること
- 二、之に各参加者の年齢別能力を乗じて能力換算勞働時間を算出すること
- 三、共同作業の設計と成績より各組合員の共同作業に提出した耕地面積をとり出し、必要あらば之に耕地の形状による歩合（各耕地別に）及び耕地の大きさによる歩合（各耕地別に）を乗じ計算上の共同作業提出耕地面積を算出すること（第(2)項参照）
- 四、各参加者の能力換算勞働時間の合計を算出すること
- 五、四に於て算出した勞働時間を、三に於て算出した計算上の耕地面積の總計で割り、單位面積當り所要勞働時間を算出すること
- 六、單位面積當勞働時間が算出されたら三に於て計算した耕地面積（各組合員別に）に之を乗じ、各組合の提出すべき勞働時間を算出すること
- 七、各組合員の家族の参加者の能力換算勞働時間（四に於て算出せるもの）を合計し六に

於て算出したものと比較し労働時間の過不足を計算すること

八、次に協定賃金を協定労働時間で割り以て、一時間當り賃金を出し之に七に於て算出した労働時間の過不足量を乗じて以て受入るべき賃銀又は拂ひ出すべき賃銀を算出すること
 以上は單に提供労働の過不足による賃銀の受拂ひの計算方法を述べたに過ぎませんが、此の他機械を使用するもの等に於てはその維持費又は諸経費等も計算に入れねばなりません、詳細は農會の指導者に尋問して頂く事にして之は省略致します。

(18) 耕地が散在し共同作業の実施困難なる場合ある

一、

農事組合の耕地が地形の關係上、一枚の大きさは非常に狭く、しかも之が諸々に點在して居る如き場合があり、又は地形關係は別として、耕地が相交錯して居る場合がありますがその何れに於ても共同作業實施が困難であります。

一、地形の關係上耕地が山間に點々として居る場合について。

斯の如き處に於ては共同田植、又は共同收穫等は却つて不利かも知れません。併し例をたゞ水稲丈にとつて見ましても選水選、病虫害防除、稻扱、調整及び場合に依りては採種等を共同でやる事が考へられます。稻作以外に於ても共同でやれる仕事而してその方

が確かに効果的である如き仕事は多分にあると思ひますから之等について共同作業の實施を御考慮願ひ度いと思ひます。

二、耕地が錯雜せる場合について。

今日の共同作業は甲の耕地のみについて實施する、明日のは乙の耕地のみについて實施するといふ行き方でなしに、甲、乙、丙誰の耕地も構はず片方から作業を進めてゆく式のものなら共同作業に差したる支障もないと思ひます。

併し茲で理想論を申すなら、耕地の交換分合を行つて見る事であります。

交換の相手を如何にして見付けるか、地主が交換を實行すれば小作人が困りはせぬか、土地の評價はどうするか等々面倒臭い問題が耕地の交換にはつきまどふものと思惟されますが、單に共同作業のためのみならず、勞力の節約といふ意味で之は有利なものである事は明かな事でありますから、共同作業實施上の支障として之が問題になつたやうな機會に之を實行に移す氣運を作り、出來れば之を決行する事は或は共同作業等の及ばざる効果を擧げ得るものではないかと思ひます。

(19) 共同作業を實施すれば個人の自由を失ひたる感

あり農事組合員が不安を感じることを

事變下に於ける生産の統制、勞力の調整の内容を充分農事組合員に知らしめ、各自が思

ひ思ひに好きな仕事をするのは國家的立場より見たる要求を満足せしむる事が出来難く吾々は右の統制の示す方向に向つて努めてこそ國家の伸展に寄與しつゝあるものであり、又國家としては生産費補償制度さへ考慮しやうと準備して居る模様であることを充分知らしめ不安がる事が農業者の使命を果す所以でない事を指導者階級の人が充分説明してやる必要があると思ひます。

(20) 其 他

共同作業實施上の其他の難問と致しまして項目のみを記して見ますと次の通りであります。

- 一、組合員間の氣分の融和のとれないこと
 - 二、共同苗代でないため共同田植が難かしいこと
 - 三、作業に早晚を生ずるため都合悪きこと
 - 四、舊畝と新畝あるにより共同作業に頓座を來せること
 - 五、自分で人を雇へば好きな人が雇へるのにといふ不平あること
 - 六、勞力不足し居らざる農事組合では組合員が乗り氣にならぬこと
- 之等事項については適宜御判斷の上對處法御研究願ひ度いと思ひます。

昭和十三年九月二十日印刷
昭和十三年九月二十五日發行

山口縣山口市新道
編輯兼發行者 山口縣農會

山口縣山口市茶畑
印刷者 藤井虎一

山口縣山口市茶畑
印刷所 中央印刷所

山口縣山口市
發行所 山口縣農會

終

